

COMPLOCK II

マルチプラットフォーム対応 暗号化ツールのCOMPLOCKII（コンブロックツー）は、メインフレームからPCにいたるまでのマルチプラットフォームで動作する圧縮・暗号化ツールです。

暗号アルゴリズムは独自方式のブロック暗号・ストリーム暗号の他、電子政府推奨暗号^{（注1）}の一つであるAES^{（注2）}に対応しております。

水平連携（ベンダー）

| | | | |
|-------------|-----------|-------------|---------|
| 日本電気、UNISYS | IBM、日立 | 富士通 | メインフレーム |
| Linux | HP-UX、AIX | 日本語 Solaris | UNIX |
| Windows | | | PC |

垂直連携（OS）

注1) 電子政府推奨暗号：

総務省および経済産業省が共同推進する暗号技術評価プロジェクト「CRYPTREC」において、電子政府にて利用することが推奨されている暗号アルゴリズムです。

注2) AES（Advanced Encryption Standard）：

米国政府の標準暗号化方式のひとつです。2003年に日本の電子政府推奨暗号として認定、2005年にはISO/IEC 18033で国際標準暗号の1つになっています。

●こんな企業様におすすめ！

- ・個人情報や機密情報などのデータをやりとりしている
- ・社内システムのバックアップデータを暗号化する検討をしている

●特長

1

マルチプラットフォームに対応しており、メインフレームやUNIX機との圧縮・暗号化したデータの受け渡しと復号ができます。



2

複数メーカーのメインフレームOS（富士通・IBM・日立・NEC）に対応、圧縮・暗号化ファイルを異機種間で相互に受渡しできます。



3

メインフレーム上のデータを直接暗号化できるため、送受信するデータの暗号化用に別途UNIX / Windows機を導入する必要が無く余分なコストとリスクを削減できます。

